

# 線形代数学・同演習 A

## 演習問題 7

1. 講義中の  $2 \times 2$  のときと同様、 $e_j$  を  $j$  行目のみ 1 でそれ以外は 0 であるベクトルとすれば、 $x = {}^t(x_1, \dots, x_n) \in \mathbb{R}^n$  は

$$x = x_1 e_1 + \dots + x_n e_n$$

と書けることに注意。  $f$  の線形性より  $f(x) = \sum_{j=1}^n x_j f(e_j)$  なので、 $f(e_j) = {}^t(a_{1j}, \dots, a_{mj})$  とおけば  $f(x) = Ax$  である。ただし、 $A = (a_{ij})$ 。

2. 図形は次ページ。面積は (1) 1 (2) 15 (3) 16 (4) 0
3. 2 点  $(0, 1)$  と  $(0, 1)$  が移動する点を考えればよい。この 2 点は原点の隣にあるので、移ることができる点は  $(1, 2)$  と  $(-1, 2)$ 。よって  $f_1(x) = \begin{pmatrix} 1 & -1 \\ 2 & 2 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix}$ ,  $f_2(x) = \begin{pmatrix} -1 & 1 \\ 2 & 2 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix}$ 。

4. (1) 平面のパラメータ表示  $x = sa + tb$  ( $s, t \in \mathbb{R}$ ) を標準型にもどせばよい。各成分ごとに見ると  $x = a_1s + b_1t$ ,  $y = a_2s + b_2t$ ,  $z = a_3s + b_3t$  なので、 $x, y$  に関する式を解いて\*1

$$s = \frac{b_2x - b_1y}{a_1b_2 - a_2b_1}, \quad t = \frac{-a_2x + a_1y}{a_1b_2 - a_2b_1}.$$

これを  $z$  の式に代入して式を整理すれば、求める式を得る。

- (2) 定義に従って計算するのみ。(3)  $\langle a | b \rangle = \|a\| \cdot \|b\| \cos \theta$  より。(4) 外積の成分表示より明らか。(5) 外積の成分表示を用いて地道に計算するだけ。

---

5 月 30 日分 (凡例: 無印は基本問題, † は特に解いてほしい問題, \* は応用問題)

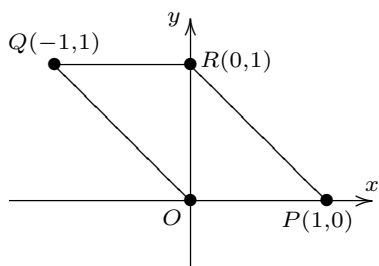
講義用 HP: <http://www2.math.kyushu-u.ac.jp/~h-nakashima/lecture/2017LA.html>

\*1 講義初回に紹介した逆行列を用いる方法が簡単。もちろん掃き出し法でも計算できる。

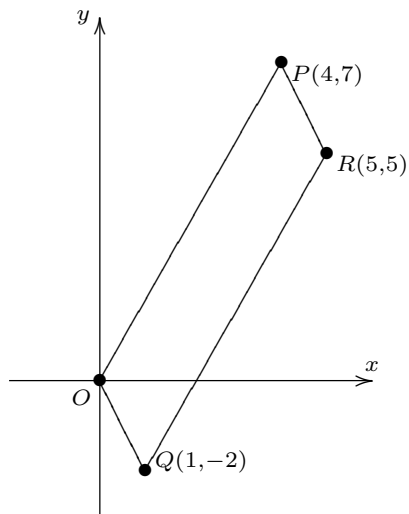
問題 3 の解答図 . 図中の  $P, Q, R$  はそれぞれ以下を表している :

$$(1, 0) \mapsto P, \quad (0, 1) \mapsto Q, \quad (1, 1) \mapsto R.$$

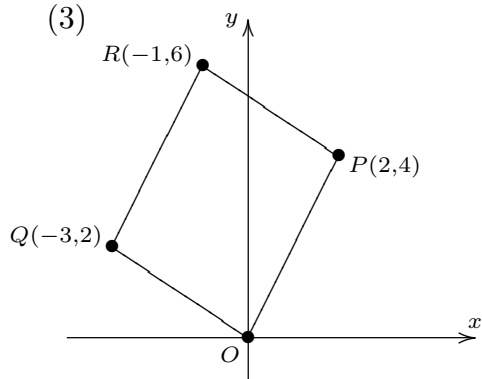
(1)



(2)



(3)



(4)

